

「みずかがみ」の穂肥時期です！ 4月下旬～5月上旬植で6月24日頃から

今年の生育は6月中旬時点で平年並となっています。
幼穂長1mmが施用時期の目安です。
ほ場ごとに幼穂を確認して遅れずに施用しましょう。



< 穂肥施用の基準 >

分施体系	窒素成分で3kg/10a(<u>大豆跡</u> ：1.5～2.1kg/10a)程度施用してください。
基肥一発体系	原則不要です。 現在、 <u>茎数が25本以下</u> の場合は、窒素成分で2kg/10a程度施用してください。

- 環境こだわり基準（化学肥料成分4kg/10a以内）を順守してください。
- 食味低下防止のため、穂肥は遅れずに施用しましょう。

< 今後の水管理 >

- 出穂期前後は水稻が最も水を必要とします。出穂前後の各3週間を常時湛水することで玄米品質低下を軽減できます。
- 基肥一発体系のほ場でも幼穂形成期に入水しましょう。
なお、環境保全型農業直接支払交付金で「長期中干し」を選択されている場合は、14日以上の中干しを確保してください。

◎熱中症に注意！

農作業中は、こまめな塩分・水分補給や休憩を行い、健康管理には十分注意するよう心がけましょう。